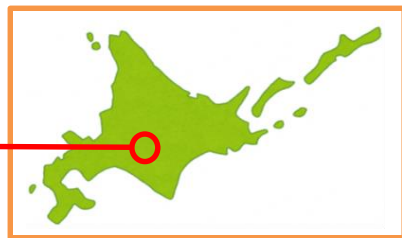


取組の概要

計画作成主体：新得町農業再生協議会
 対象品目：そば（産地面積166.2ha）
 主な取組主体：新得町農業協同組合
 成果目標：販売額の10%以上増加
 基準（H25～29年度5中3）24,079円/10a
 目標（H32年度）27,580円/10a
 導入施設等：生産支援事業（機械リース）
 （収穫用コンバイン 1台）

北海道
新得町
新得町全域



ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

実需者からの引き合いが強く、今後の需要量増が見込める「そば」について、年々、生産量は増加しているが、収穫体制が限界に達しており、目標とする収量及び品質の向上に支障を来している状況にある。

このことから、効率的な収穫作業体制を整備し、収量及び品質の向上、作付面積の拡大を図り、販売額の増加を目指す。



【産地の体質強化に向けた方策】

①JAで新設する畑作コントラ部門での適期収穫による品質の向上及び収量の増加を図るため、効率的な収穫作業に係る機械のリース導入を支援

推進体制

・新得町
 ・JA畑作振興会
 ・農業改良普及センター

指導・助言

新得町農業再生協議会
 ①計画の策定・管理
 ②取組計画への助言

情報共有

・協議会与取組主体(JA)との
 情報共有(取組状況等)
 ・行政機関(町)及びJA振興
 会、普及機関によるサポート体
 制

取組主体(JA)
 ①取組計画の作成
 ②取組実施 等

地域における独自の取組

〈主な取組〉

・町営農指導対策協議会が主体となり、青空教室や冬季営農講座を開催し、適期作業等による収量及び品質の向上に向けた技術指導を実施

期待される事業効果

【事業実施による直接効果】

①JAでの収穫コントラ部門の新設による小麦からの作付転換に伴う作付面積の増加
 ②効率的な収穫作業体制の確立に伴う適期収穫により、生産量の増加及び品質の向上

【事業実施による間接効果】

①効率的な収穫作業体制の確立による個別経営体での経費削減

販売額の増加

～そばの販売額～

